

報道関係者各位

PRESS RELEASE

2026年1月14日

株式会社アイ・オー・データ機器

スマホのマイナ保険証利用で出荷台数40,000台を突破 医療機関に馴染みやすいデザインの汎用カードリーダー

株式会社アイ・オー・データ機器（本社：石川県金沢市、代表取締役会長：細野 昭雄、以下、アイ・オー・データ）は、当社製の汎用カードリーダー「USB-NFC4/E」が、スマートフォンに搭載したマイナ保険証によるオンライン資格確認の運用開始を背景に、多くの医療機関に採用され出荷台数40,000台を突破したことをお知らせいたします。



2025年9月19日より、スマートフォンに搭載したマイナ保険証によるオンライン資格確認が医療機関の窓口で開始されました。あらかじめマイナナンバーカードをスマートフォンに登録することで、患者はマイナナンバーカードを持参しなくてもスマートフォンだけで健康保険資格の確認が可能となるため、受診時の利便性向上が期待されます。

医療機関がスマートフォンによるマイナ保険証利用に対応するためには、受付窓口でスマートフォンの NFC（非接触 IC）読み取りに対応した汎用カードリーダーを設置する必要があり、購入にかかる費用には、2026 年 1 月 31 日まで導入補助金制度※を利用できます。

※Amazon サイトでの購入が対象です。詳細は下記の案内ページをご覧ください

マイナ保険証スマホ対応補助事業について

https://iryohokenjyoho.service-now.com/csm?id=kb_article_view&sysparm_article=KB0012349

■ 唯一、すべてのメーカーの顔認証カードリーダーと組み合わせが可能

「USB-NFC4/E」は、導入補助金の適用対象となる汎用カードリーダーの中で、唯一すでに設置されているすべてのメーカーの顔認証カードリーダーと組み合わせて利用できる商品です。既存設備との組み合わせを気にすることなくスムーズな導入が可能で、医療現場から高く支持されています。

■ 受付に馴染む白色・シンプルデザイン

医療機関の受付環境に自然に調和するホワイトの筐体を採用。清潔感のあるシンプルなデザインで、患者が利用する窓口にも違和感なく設置できます。また、スマートフォンをかざしやすくするための専用スタンド（別売）もご用意しています。

■ 医療 DX のインフラを支えるラインアップ

当社は医療機関と資格確認ネットワークの接点となるオンライン資格確認端末も多数出荷しており、マイナンバーカードを活用した医療 DX のインフラを支えています。

< 商品詳細 >

IC カードリーダーライター「USB-NFC4/E」（補助金対象）

<https://www.iodata.jp/product/interface/iccardreader/usb-nfc4e/>



IC カードリーダーライター用スタンド「RSS-MA1」（補助金対象外）

<https://www.iodata.jp/product/interface/iccardreader/rss-ma1/>



取り付けイメージ ※カードリーダーは付属していません

※他にも医療機関でご使用いただけるメディカルツールをご提供しています。

<https://www.iodata.jp/biz/medical/>

アイ・オー・データは、国が推進する医療業界のデジタルトランスフォーメーション（DX）を安心の技術で支え、医療機関および関連企業のパートナーとして、今後も支援を続けてまいります。

※ 本リリースに記載されている会社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。

※ 本リリースに記載されている情報は発表日現在のものです。予告なく変更されることがありますので、最新の情報については当社のウェブサイトをご参照ください。

【本リリースに関するマスコミ問い合わせ窓口】

株式会社アイ・オー・データ機器

販売推進部 販売推進1課

担当:佐藤(さとう)

TEL:080-9211-4372(広報窓口)

Mail:kouhou-pub@iodata.jp

【会社概要】

株式会社アイ・オー・データ機器

代表取締役会長:細野 昭雄

本社:石川県金沢市

資本金:3,588百万円

ホームページ: <https://www.iodata.jp/>